

平成 26 年度 部長マニフェスト（評価及び検証）

## 都市整備部 部長マニフェスト（評価及び検証）

重点課題 ①

自己評価

効果的・効率的な道路整備と維持管理の推進

達成

★何を目指すのか、目指すべき方向は？

（評価日）平成26年12月31日

### 戦略課題の目標

誰もが安全で安心して移動できる歩道を増やすとともに、道路の拡幅により車の通行が困難な危険個所の解消を目指し、広域交通網では良好な市街地の形成と交通渋滞の解消を図るため、ハード・ソフト両面の取組を行う。

また、日常の道路の維持管理については、点検パトロール強化や、より多くの市民との協働により、安全の確保や利便性の向上と美化活動にも取り組む。

### セルフレビュー（自己点検）

誰もが安全で安心して移動できる道路を確保するために、平成15年3月に策定した交通バリアフリー基本構想に基づく特定経路や危険な通学路などについて、優先的に歩道整備を行い、合わせて国道25号の交通渋滞を解消するため、大阪国道事務所と協議を進め、国土交通省には渋滞解消対策を講じていただくよう要望も行った。

道路の維持管理については、日常の道路パトロールや市民からの通報による道路の破損等については迅速に対処し、通行の安全性の確保や利便性の向上を図る、また地区や住民の方に簡易な清掃等の美化活動を取り組んで頂けるよう、市民協働によるまちづくりを働きかけている。

## ★その実現に向けて、今年度は何をするのか？

## 施策推進上の目標

- ・ 雁多尾畑地区の交通安全と農業振興を目的に、昨年度に引き続き道路整備を実施する。
- ・ 都市計画道路大泉本郷線の完成後、接道する市道上市法善寺線において交通量の増加が見込まれるため、スムーズに交通処理できるよう設計業務に着手し整備へ向け計画を行う。
- ・ 踏切道の適正な維持管理を行うため鉄道会社と連携を図り、計画的な補修による歩行者の安全、安心と円滑な列車運行の妨げにならないよう、傷みの激しい踏切から補修を行う。
- ・ 近鉄河内国分駅周辺の国道 25 号、165 号の渋滞緩和を図るため、市の骨格道路である都市計画道路の整備を進め、合わせて国土交通省、大阪府と連携し渋滞対策について協議を進める。

## 取組結果・実施状況

- ・ 市道畑信貴線道路整備事業を年度早期から進め、完成に向けて工事の進捗を図っております。
- ・ 都市計画道路大泉本郷線の完成時に接道する上市法善寺線においては、年度早期から予備設計業務に取り組み、関係機関との協議を進めています。
- ・ 踏切道の計画的な補修による、歩行者の安全、安心と円滑な列車運行の向上を図るため、鉄道会社と連携を図って、近鉄法善寺第 3 号踏切の改良を進めています。
- ・ 田辺旭ヶ丘線道路整備事業では、必要な用地の買収の事務作業中であります。
- ・ 近鉄河内国分駅周辺の国道 25 号、165 号の渋滞対策については、大阪国道事務所、大阪府、近隣市町村、西日本高速道路株式会社による渋滞対策検討会議を実施し、また国土交通省（本省）への国家要望を実施しました。

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

アウトプット

- ・市道畑信貴線整備工事           L=240m
- ・田辺旭ヶ丘線道路整備工事    用地購入   A=73.5 m<sup>2</sup>
- ・近鉄大阪教育大前駅バリアフリー化工事  
  構内外併用EV   2基
- ・近鉄法善寺第3踏切改良工事  
  踏切道改良工事   1式
- ・上市法善寺線予備設計業務  
  測量設計   1式

取組結果・実施状況

- ・市道畑信貴線整備工事  
  工事進捗中（年度内完成予定）
- ・田辺旭ヶ丘線道路整備事業  
  用地買収手続き中（年度内買収予定）
- ・近鉄大阪教育大前駅バリアフリー化工事  
  工事進捗中（年度内完成予定）
- ・近鉄法善寺第3踏切改良工事  
  工事着手に向けて手続き中（年度内完成予定）
- ・上市法善寺線予備設計業務  
  測量設計中（年度内完成予定）

## ★その取組により、何をどのような状態にするのか？

## アウトカム

- ・市道畑信貴線整備工事の道路拡幅によって、大型車両と一般車両の相互通行の安全確保や、農業生産（輸送力）の向上が図れる。
- ・近鉄河内国分駅周辺の渋滞緩和対策として事業を進捗させている、都市計画道路田辺旭ヶ丘線整備の用地取得の進捗が図れる。
- ・大阪教育大前駅を利用されている約 6,000 人の乗降者の移動円滑化が図れる。
- ・経年変化により踏切道に段差が生じたことで、通行者が転倒する可能性があり、これを改良することで段差が解消され、通行者や列車運行の安全が確保される。
- ・都市計画道路大泉本郷線の完成後、上市法善寺線に多くの交通量が見込まれるので、良好な交通処理を行うため、接道部の交差点部分の整備を行い、渋滞防止や歩道設置による歩行者の安全が確保される。

## 取組結果・実施状況

- ・市道畑信貴線整備事業は、今年度工事で全区間L=1830mが完成となり、大型車両と一般車両の相互通行の確保及び農業生産（輸送力）の向上が図れることになる
- ・田辺旭ヶ丘線道路整備事業に必要な用地を引き続き確保する。
- ・大阪教育大前駅を利用されている、約 6,000 人の乗降者の移動円滑化により、当該駅を利用される住民の利便性が向上する。
- ・経年変化により生じた踏切道の段差の解消により、踏切道の歩行者の通行の安全性が向上する
- ・都市計画道路大泉本郷線の完成後、上市法善寺線の良好な交通処理並びに、歩行者の安全な通行を確保するため、接道部交差点の整備に向け、事業の進捗を図る

(評価日) 平成27年1月31日

市長評価

(B) 奨励 : 頑張って目標を達成し、満足できる結果である。さらなる向上を目指してもらいたい。

市長のコメント

- ・交通バリアフリーの推進について引き続き取り組むこと。

(作成日) 平成27年2月27日

行政評価委員会のコメント

- ・予防的な視点での確認に基づく修繕については、経費削減につながる効果があると思われるので、完全な実施に向けて取り組まれない。
- ・高齢者社会の対策として、バリアフリーの促進に努められたい。

(作成日) 平成27年3月27日

### 今後の取組の方向性など

- ・道路の整備については、平成27年度以降も交通バリアフリー基本構想に基づいて特定経路や危険な通学路などについて、優先的に歩道整備を行う。
- ・道路の維持管理については、道路修繕計画に基づき、傷みの激しい道路から優先的に補修を行う。

## 重点課題 ②

## 自己評価

## 交通安全対策の推進

概ね達成

## ★何を目指すのか、目指すべき方向は？

(評価日) 平成26年12月31日

## 戦略課題の目標

交通安全施設の整備や適切な管理を行うとともに、放置自転車等を減らし、車両や歩行者の安全を確保して、市民が安心できるよう交通環境の向上を図ります。また、警察・交通安全協会と連携し、交通ルールの遵守を呼びかけて、交通安全意識の高揚を図り交通事故防止に努める。

## セルフレビュー(自己点検)

駅前迷惑駐車減少、公共交通利用度アップを図るため、JR 柏原駅東駐車場を利用しやすい平面駐車場に改築して平成26年12月10日オープンし、ホームページ等で利用促進を行っている。また、キャンペーンにおいて啓発ポスターなどを自転車駐輪場や市の掲示板等に貼りだし、また、市関係機関や市広報とともに配布も行い、交通ルールの遵守を呼びかけ、交通安全対策の向上に努めた。

★その実現に向けて、今年度は何をするのか？

施策推進上の目標

- ・ 放置自転車対策、特にJR柏原駅周辺の自転車等放置禁止区域内での、自転車放置ゼロを目指す。また、休日の放置防止の強化も図る。
- ・ 交通安全キャンペーン、ホームページの充実等、啓発活動を強化し、交通安全意識の高揚を図る。
- ・ 柏原駅東自動車駐車場の改築による、違法駐車への減少、パークアンドライドなどのソフト事業の推進を図る。

取組結果・実施状況

- ・ 自転車等放置禁止区域内で自転車放置ゼロを目指すため、地域の巡回、啓発などを行い、前年度（平成25年度）比較で約10%の削減（平成26年11月時点）となった。JR柏原駅周辺での休日の放置防止対策については、柏原警察と対策について協議中。
- ・ 交通安全意識の高揚を図るため、交通安全キャンペーン、小学校においての交通安全教室の実施、必要に応じて手作り啓発看板の設置等、啓発活動を行った。
- ・ 平成26年12月に柏原駅東自動車駐車場を改築オープンし、ホームページやフェイスブック、市広報紙等に掲載し、公共交通へのアクセスポイントとしての利用促進を図っている。



★その取組により、何をどのような状態にするのか？

### アウトプット

- ・ 放置自転車等への警告札貼付枚数：5000 枚以下
- ・ 交通安全キャンペーン等の啓発活動の実施回数：30 回以上
- ・ 柏原駅東自動車駐車場の回転率：1.5 以上

### 取組結果・実施状況

- ・ 放置自転車等への警告札貼付枚数：8153 枚
- ・ 交通安全キャンペーン等の啓発の実施回数：34 回
- ・ 平成 26 年 12 月 10 日オープンし、現在、利用促進を実施中。平成 26 年 12 月末までの利用は、6.7 台/1 日であり、さらなる利用促進の啓発を図る。

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

### アウトカム

交通安全施設の適切な管理や交通安全キャンペーン等で交通安全意識の向上、交通事故抑止を行なうことにより、市民が安心できる交通環境が確保される。また、公共交通の利用促進により交通渋滞の緩和に繋がる。

### 取組結果・実施状況

交通安全施設の適切な管理や交通安全キャンペーン等を根気よく行うことにより交通安全意識を高められ、交通事故の発生防止に繋がり、市民が安心できる交通環境が確保される。また、駅近隣自転車駐輪場、自動車駐車場の利用促進を図り、公共交通利用の促進による交通渋滞の緩和に繋げるため、今後も啓発を行ってゆく。

(評価日) 平成27年1月31日

市長評価

(C) 期待 : 一定の目標は達成できたが、もうひと踏ん張り。今後に期待する。

市長のコメント

- ・ 違法駐車や違法駐輪に対して、もっと厳格で効果的な対策と啓発を検討すること。

(作成日) 平成27年2月27日

行政評価委員会のコメント

- ・ 自転車の安全運転に関し、市民に対する啓発を強化されたい。
- ・ 放置自転車の問題は市民のモラルの問題である。警告札の貼付けだけではなく強制的に撤去するほうが効果は大きいと考える。
- ・ 放置自転車ゼロを目指し柏原警察とタイアップして厳格な取組を願う。また、法的罰則を視野に入れた対策を強化されたい。

(作成日) 平成27年3月27日

### 今後の取組の方向性など

- ・交通安全に関する啓発を広報、ホームページ、フェイスブック等により市民に知らせ、交通安全ルールの厳守を呼びかける
- ・休日の駅前（特にJR柏原駅東側）についての撤去体制において、柏原警察と協議し、改善を図る
- ・限られた予算内で市内の啓発活動等を創意工夫し、市民参加型の啓発活動を検討する

重点課題 ③

自己評価

安全で快適な公園・広場等の確保

概ね達成

★何を目指すのか、目指すべき方向は？

(評価日) 平成26年12月31日

戦略課題の目標

日常的な巡視や、草抜きゴミ拾いなどの軽易な作業について、地域住民による協働をお願いし、より安全で快適な公園等の確保を行う。

セルフレビュー（自己点検）

日常的な巡視や、草抜きゴミ拾いなどの作業については、市民からの要望時に職員による対応を含め、市民と協働で行うことにより啓発を継続して進めており、より安全で快適な公園等の確保に努めている。

★その実現に向けて、今年度は何をするのか？

施策推進上の目標

市民との協働をより円滑に有効的に進めるため、地域との協議・連携を強める。

取組結果・実施状況

市民との協働をより円滑に有効的に進めるため、市民への説明や区長への連絡・協議により連携を強めていくことを引き続き行います。

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

#### アウトプット

市民協働で維持管理する公園・広場等の箇所割合を60%とする。

#### 取組結果・実施状況

市民協働で維持管理する公園・広場等の箇所割合：59%  
(公園・広場箇所数 133 箇所の内、79 箇所について市民協働により維持管理されている。)

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

#### アウトカム

公園・広場等の管理等に地元住民が携わることにより、きめ細やかな維持管理を行うことが可能となり、また地域住民の公園等に対する関心も高められるとともに、利用形態などについても自主性をもって取り組んでいただけるようになる。

#### 取組結果・実施状況

公園・広場等の管理等について、区長からの公園利用に対する要望が増えており、清掃用品の支給や利用形態についても地域の実情を考えた意見が出てきている。このことから地域住民の公園等に対する関心が高まっており、維持管理についても自主性を持って取り組んで頂いている公園が増えてきている。

(評価日) 平成27年1月31日

市長評価

(C) 期待 : 一定の目標は達成できたが、もうひと踏ん張り。今後に期待する。

市長のコメント

- ・公園の雑草繁茂などに対したびたび苦情があると聞く。市民の協力を得るなど有効な対策を検討すること。
- ・地域の自主清掃などボランティアで清掃管理している地区等があると聞く。優良な取組をモデルとしてPRすること。

(作成日) 平成27年2月27日

行政評価委員会のコメント

- ・市民協働で維持管理する公園・広場の割合はまだ低い状況であるが、協働の取組意識が高く優良な公園について、表彰制度などを創設し、広報等を通じて市民にPRすれば市民協働の意識が高まると考える。
- ・高齢者が利用しやすい公園整備に努めていただきたい。
- ・利用されていない公園が見受けられるが、維持管理等で経費が必要となる公園については、廃園等の検討を行われたい。

(作成日) 平成27年3月27日

### 今後の取組の方向性など

- ・公園の雑草繁茂の問題については、定期的なパトロールによる状況把握と迅速な対応に努めるとともに、地元区長や市民ボランティアと連携して、公園の快適性を確保できるよう努めます。
- ・広報4月号において、田辺第一公園でのボランティアによる植樹の記事が掲載され、広報5月号においては国分市場緑地広場での市民協働の取り組みについての記事が掲載される予定ですが、今後もこのような市民協働の取り組みをPRしていき、他の公園にも同様の取り組みが波及していくよう努めます。
- ・高齢者が利用しやすい公園整備についてですが、公園利用者の年代層の変化や地域住民の要望などを考慮し、健康遊具の設置などをふまえ、利用者のニーズに答えられる公園整備を目指していきます。なお、平成27年度に健康ベンチの設置を1箇所予定しております。
- ・利用者が少ない公園についてですが、原因については、少子高齢化など公園利用者の年代層の変化や、施設の老朽化や雑草の繁茂による魅力減少など、様々な要因が考えられます。公園の利用者拡大につながるよう、魅力向上に努めてまいりたいと考えています。